

事業番号	04 04 12	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産科医等確保支援事業			担当課	部局	健康福祉部
					課・室	医療推進課医師確保対策室
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト		E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 3医療従事者の養成・確保		実施期間	H21 ~	

1 事業の概要

目指す姿	分娩を取り扱う産科医及び分娩施設が減少していることから、分娩を取り扱う産科医・助産師に対する手当て（いわゆる分娩手当）の支給を支援することにより、産科医等及び産科医療機関の確保を図る。 成果目標：人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29)				
現状	○県内における分娩取り扱い医療機関の減少(H13:68箇所→H23:45箇所) ○近年、産科医は増加しているものの依然として不足感が強く、引き続き産科医を確保する必要がある。 (長野県の産科医師数 H20:168名→H22:191名)				
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )		<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 国庫補助を活用し実施することが効果的である。 産科医等確保支援事業補助金交付要綱		
事業内容	① 成果目標(H24)				
	<input type="checkbox"/> 補助事業実施施設(病院・診療所・助産所)を現状(H24:39施設)以上とする。 <input type="checkbox"/> 現状の分娩を取り扱う医療機関数(46箇所)を維持する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		H25
			(当初)	(決算)	(当初)
	分娩手当支給への支援	補助金	補助基準額(1分娩当たり10,000円が上限)の1/3を補助した(39施設)	50,546	38,541
			合計	50,546	38,541
				52,191	

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	72,540	69,108	50,546	52,191
	補正予算				
	合計(A)	72,540	69,108	50,546	52,191
	国庫支出金	43,348	42,533	50,546	52,191
	県債				
	その他( )				
	一般財源	29,192	26,575	0	0
	決算額(B)	51,254	53,089	38,541	
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
概算人件費	2,495	2,495	2,495	2,495	
概算事業費(B(A)+C)	53,749	55,584	41,036	54,686	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
事業実施施設数	37	39	39	達成	44
県内分娩取扱施設数	45	46	46	達成	46

目標に対する成果の状況	事業実施施設が年々増加するとともに、近年分娩取扱施設数は横ばいとなり、目標どおりの成果が表れている。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	分娩を取り扱う産科医の処遇改善及び分娩施設の減少に歯止めをかけるため、分娩を取り扱う産科医・助産師に対する手当て（いわゆる分娩手当）の支給を引き続き支援する必要がある。